



株主懇談会

ラックホールディングス株式会社

2011年6月23日

JASDAQ (証券コード3857)
<http://www.lachd.co.jp/>

目次

1. 連結子会社の吸収合併

2. 経営施策-2012年3月期-

3. 2012年3月期業績予想(連結)

4. 事業の拡大に向けた施策

5. 事業計画-2012年3月期-【システムインテグレーションサービス事業】

6. 事業計画-2012年3月期-【セキュリティソリューションサービス事業】

7. 事業計画-2012年3月期 -【ディーラー事業】

参考資料

1. 会社概要

3. 全社戦略

2. 企業理念/ビジョン

4. 経営目標

1. 連結子会社の吸収合併

2012年4月の体制



1. お客様のビジネス革新に貢献する、お客様に必要とされる最適なサービスの提供
2. 顧客基盤の共有による市場拡大
3. コストの適正化による収益構造の改革
4. セキュリティなど成長分野へのグループ経営資源の最適配分
5. 意思決定の迅速化による機動的な組織運営と効率的な業務運営



各事業の強みを生かした事業の安定と経営の成長

- SIS事業 : 営業利益の向上
- SSS事業 : 高い利益率の追求
- デイラー事業 : 高い成長性の追求

2. 経営施策-2012年3月期-



経営基盤 の強化

- 2012年4月の合併に向け、**重要な経営資源の投資と活用の再点検**
- サイバーセキュリティ研究所によるグループブランド力の強化
- 経営環境の変化に対応できるよう、財務基盤の強化を図る



ポートフォリオ の強化

- **グループ各社営業機能の統合的な運営**による営業力の強化
- 選択と集中による事業の最適化
- 新規ソリューション開拓のため、**事業開発室の設置**



付加価値と 生産性の向上

- お客様のIT投資の最適化に向けた提案活動の推進
- プロジェクト管理における品質管理システム・体制の拡充
- コスト最適化の推進



グローバル 展開

- 中国現地法人(上海LAC)による日本企業向けサービスの展開
- 韓国現地法人(CSLAC)による情報セキュリティ・ビジネスの推進



人材の育成

- 人材の多様性と自己啓発意欲を尊重した養育の推進
- 次代に合った**人間力、経営力および技術力の強化**
- 経営情報の周知徹底による経営目標の共有化



3. 2012年3月期業績予想(連結)



(百万円)

科目	'11年3月期	'12年3月期	前期比	
	実績	予想	増減額	増減率%
売上高	33,413	33,500	+86	+0.3
営業利益	1,489	1,500	+10	+0.7
営業利益率%	4.5	4.5	+0.0p	-
経常利益	1,301	1,235	△66	△5.1
当期純利益	851	470	△381	△44.8
EBITDA	2,781	2,736	△45	△1.6
一株当たり当期純利益(EPS)	25円73銭	10円86銭	△14円87銭	△57.8
一株当たり配当金	10円	10円	-	-

EBITDA; 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額
 一株当たり当期純利益/配当金; 普通株式に係る数値

4. 事業の拡大に向けた施策



■ サイバーセキュリティ研究所

> セキュリティブランド力による差別化

■ 金融システム

> 技術力提供の強化・拡大

■ 新規事業への挑戦

> **joulex** (ジューレックス); 世界初のエネルギー総合管理システム

- ・ 国内第1号の販売代理店となる
- ・ 東日本大震災に対する社会貢献事業



5. 事業計画- 2012年3月期- 【システムインテグレーションサービス(SIS)事業】

SIS事業

：営業利益の向上

市場環境

企業のIT投資が引き続き抑制されるなか、クラウド、タブレット端末・スマートフォンのIT活用などビジネスモデルはサービス型へ、また新たな技術転換とトレンドが変貌する可能性のあることに加え、インドや中国の情報サービス企業によるグローバル競争の激化が予想される。

重点施策

■ 市場の開拓

- ◆ グループ内営業連携による新規案件開拓
- ◆ ソリューション商材の整備・活用による新規案件開拓
- ◆ 自治体向けサービスの強化

■ 経営資源の最適化

- ◆ リソースの最適化と若手リーダーの育成
- ◆ グローバルコスト競争に勝つためのオフショア、ニアショアの推進
- ◆ ビジネスパートナーの集約によるパートナースキームの強化



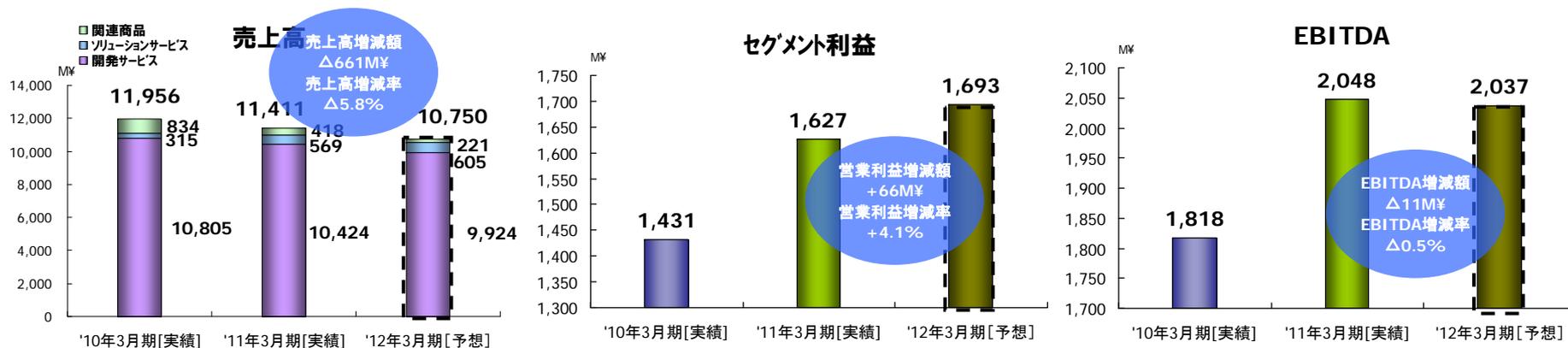
5. 事業計画- 2012年3月期- 【システムインテグレーションサービス(SIS)事業】

SIS事業 : 営業利益の向上

(百万円)

システムインテグレーションサービス (SIS)事業	'11年3月期	'12年3月期	前期比	
	実績	予想	増減額	増減率%
開発サービス	10,424	9,924	△500	△4.8
ソリューションサービス	569	605	+36	+6.3
関連商品	418	221	△197	△47.1
売上高	11,411	10,750	△661	△5.8
セグメント利益 (*)	1,627	1,693	+66	+4.1
EBITDA (*)	2,048	2,037	△11	△0.5

(*) 経営指導料など全社費用の配賦と連結消去前の利益



6. 事業計画- 2012年3月期- 【セキュリティソリューションサービス(SSS)事業】

SSS事業

：高い利益率の追求

市場環境

情報漏えい事件は後を絶つことなく、企業のセキュリティに対する投資は増加すると見られるが、大企業向けの診断サービス、監視サービスともに成熟期に入っており、品質やコスト面での競争激化が予想される。

重点施策

■ 高収益率のサービスへのシフト

- ◆ 監視サービス、診断サービス、常駐型案件へのリソースの集中

■ パートナー販売の強化

- ◆ 競争力のある新商材の投入による既存販売パートナーとのビジネスシナジーの強化
- ◆ 緊急対応サービスのパートナー展開の拡充
- ◆ 競合会社との協業および提携の推進

■ 市場ニーズにあわせた競争力のある商材開発

- ◆ 機器運用までワンストップで提供できる監視サービスに再構築
- ◆ 韓国、中国の子会社の活用による診断サービスのコスト競争力強化



6. 事業計画- 2012年3月期- 【セキュリティソリューションサービス(SSS)事業】

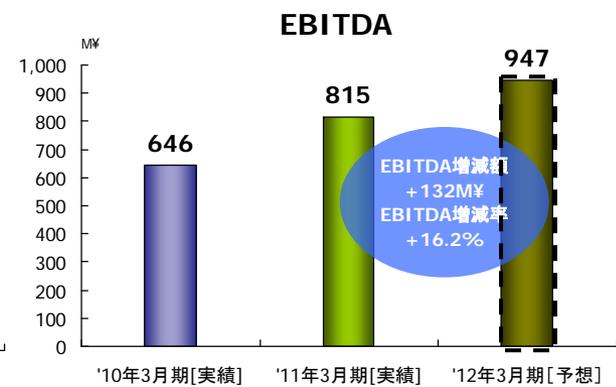
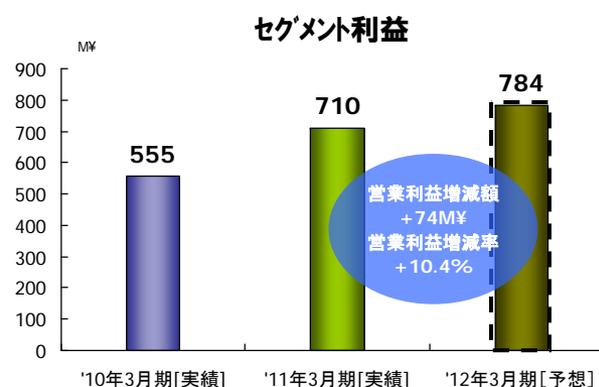
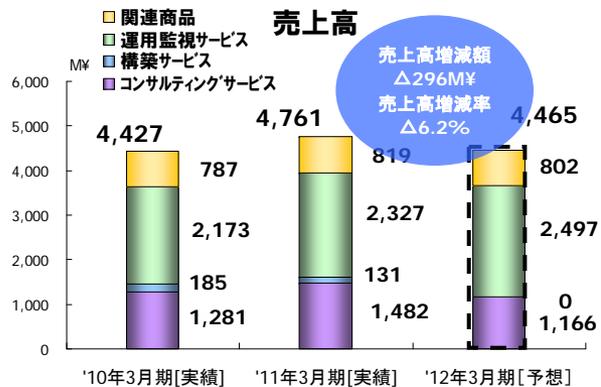
SSS事業 : 高い利益率の追求

(百万円)

セキュリティソリューションサービス(SSS)事業	'11年3月期	'12年3月期	前期比	
	実績	予想	増減額	増減率%
コンサルティングサービス	1,482	1,166	△316	△21.3
構築サービス(*1)	131	-	-	-
運用監視サービス	2,327	2,497	+170	+7.3
関連商品	819	802	△17	△2.1
売上高	4,761	4,465	△296	△6.2
セグメント利益 (*2)	710	784	+74	+10.4
EBITDA (*2)	815	947	+132	+16.2

(*1) SSS事業の構築サービスは'12年3月期より監視サービスに関連する案件の取扱いに限定するため、その売上高の取扱いは運用監視サービスに含めることにしています。

(*2) 経営指導料など全社費用の配賦と連結消去前の利益



7. 事業計画 - 2012年3月期 - 【ディーラー事業】



ディーラー事業 : 高い成長性の追求

市場環境

東日本大震災の影響を受け、事業継続、災害対策への投資が増加すると見られ、また、低価格サービス、クラウドサービスへのシフトが予想される。

重点施策

- グループ営業機能の集約によるお客様ニーズへの柔軟な対応
- お客様のニーズに応える新商品・サービスの拡充
 - ◆ BCP（事業継続計画）、DR（災害復旧）への対応したソリューション
 - ◆ クラウド型ビジネスにおける高付加価値サービスの拡充
- 安定的な営業基盤の確保
 - ◆ パートナーとの連携強化によるストックビジネスの拡充
 - ◆ メーカーとの協業活動による安定的なビジネス基盤の構築
 - ◆ 非金融分野の市場へのさらなる展開



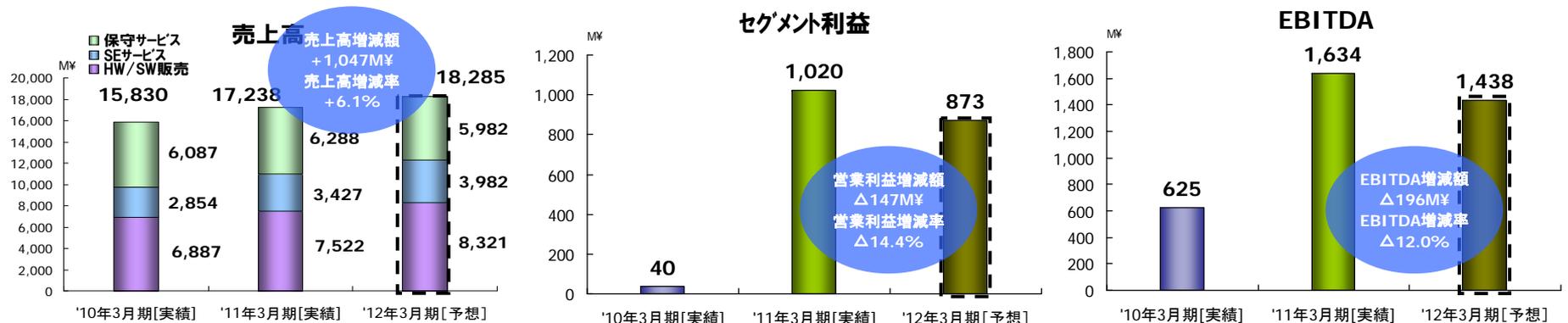
7. 事業計画 - 2012年3月期 - 【ディーラー事業】

ディーラー事業 : 高い成長性の追求

(百万円)

ディーラー事業	'11年3月期	'12年3月期	前期比	
	実績	予想	増減額	増減率%
HW/SW販売	7,522	8,321	+799	+10.6
SEサービス	3,427	3,982	+555	+16.2
保守サービス	6,288	5,982	△306	△4.9
売上高	17,238	18,285	+1,046	+6.1
セグメント利益 (*)	1,020	873	△147	△14.4
EBITDA (*)	1,634	1,438	△196	△12.0

(*) 経営指導料など全社費用の配賦と連結消去前の利益



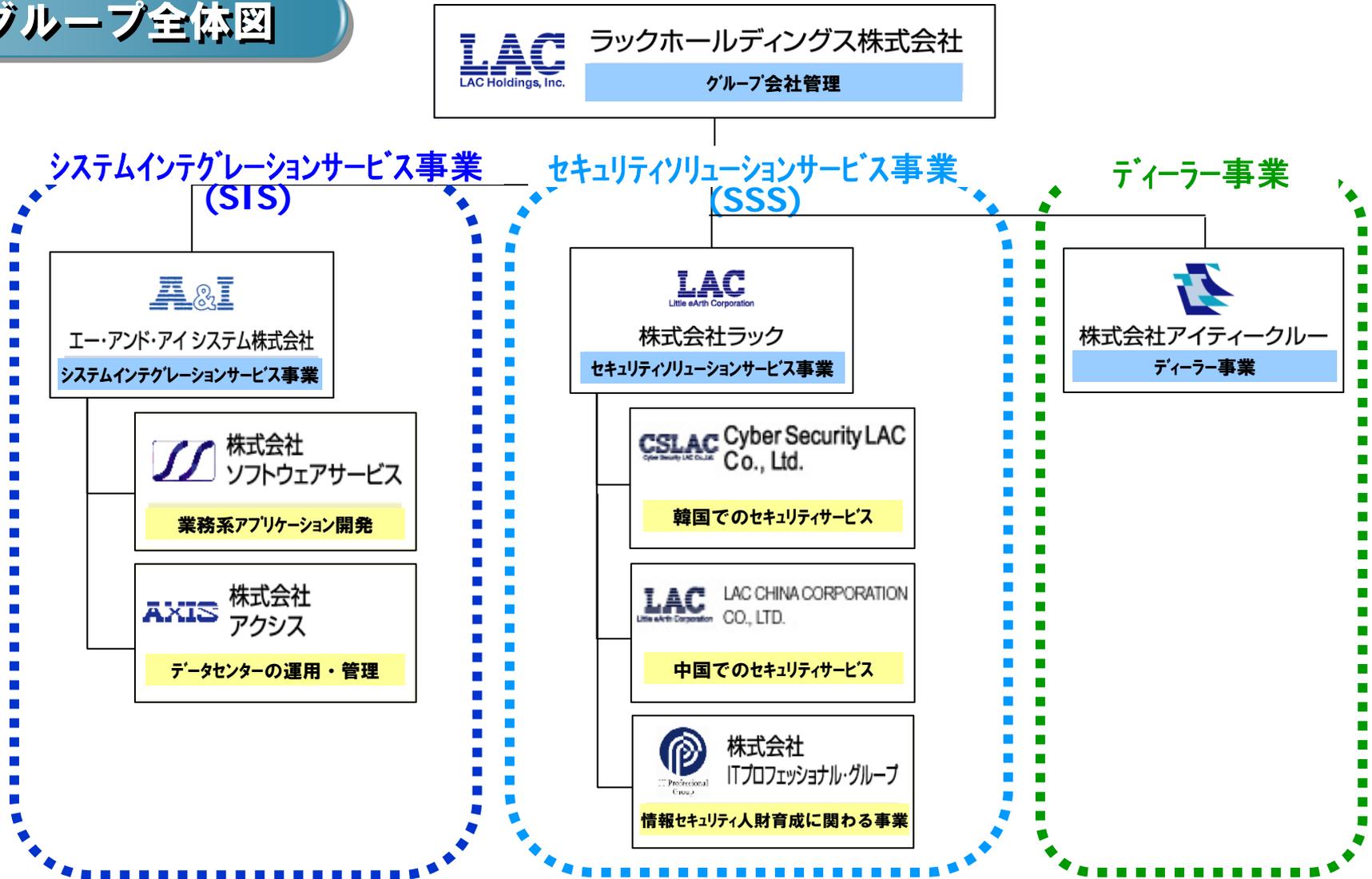


参考資料

1.会社概要

2011年6月23日現在

グループ全体図



1.会社概要

沿革

2002 .4
■A&I: (株) アクシス (AXIS) 子会社化

2006 .1
■A&I: (株) 保険システム研究所 (ISL) 子会社化

2006 .12
■A&I: (株) ソフトウェアサービス (SS) 子会社化

1987 .5
■エー・アンド・アイ システム (株) (A&I) 設立

1986 .9
■(株) ラック (LAC) 設立

2007.10

LAC、A&I 経営統合
ラックホールディングス(株) (LACHD) 設立

2009 .12
■LAC: 子会社 LAC CHINA CORPORATION CO., LTD.
(上海ラック) 設立

2008 .7
■LAC: 子会社 Cyber Security LAC Co., Ltd.
(CSLAC) 設立

2008 .4
■ISL 子会社化

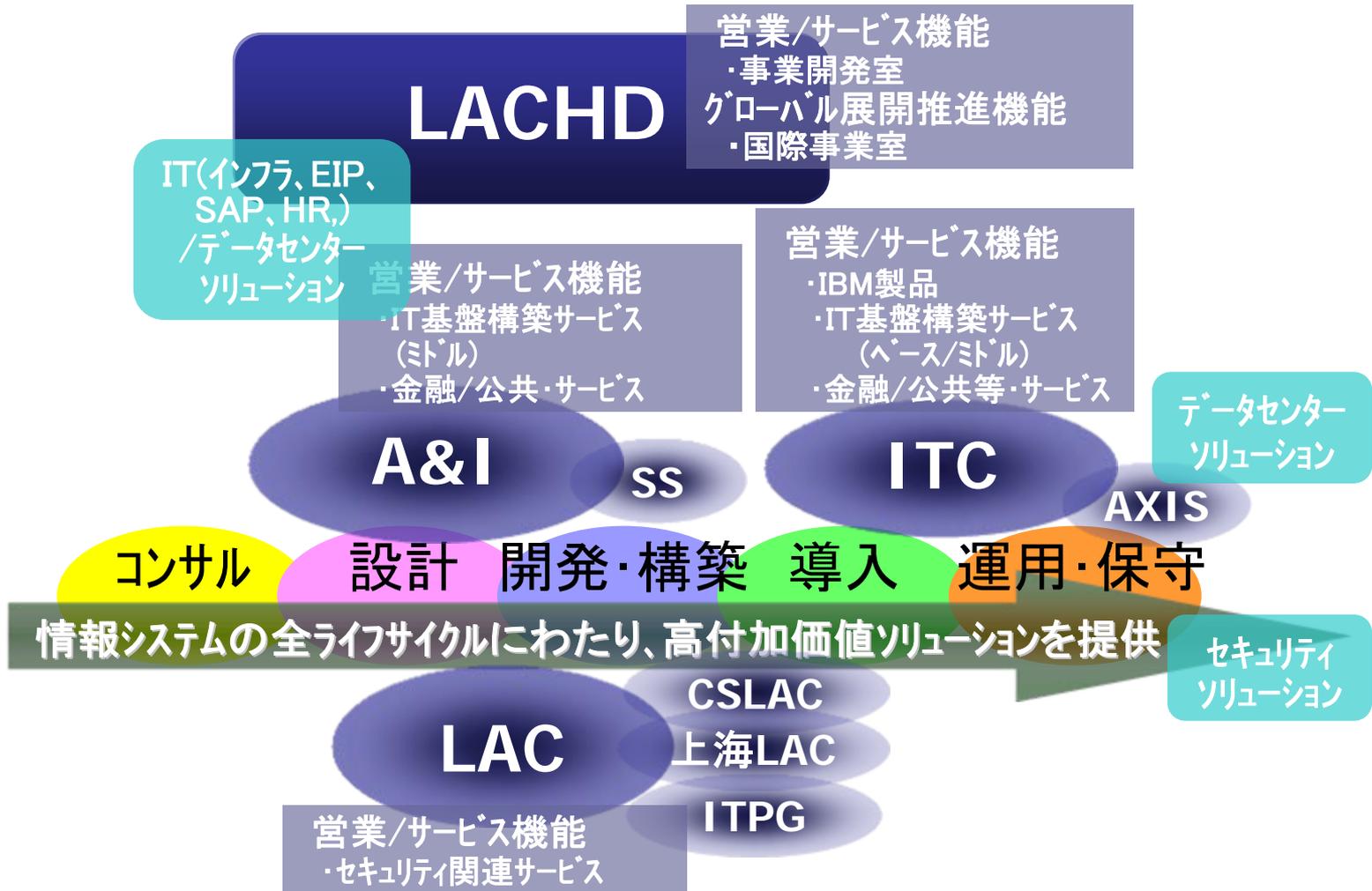
2009 .5
■LAC: (株) ITプロフェッショナル・グループ
(ITPG) 子会社化

2008 .7
■子会社 (株) アイティークルー (ITC) 設立
ディーラー事業承継

2012 .4(予定)
完全子会社 3 社を吸収合併し
事業持株会社体制へ

2010 .7
■ISL 株式を譲渡

1.会社概要



1.会社概要

会社概要

商号	ラックホールディングス株式会社
英文名	LAC Holdings, Inc.
事業内容	子会社およびグループの経営管理ならびにそれに付帯する業務
本店所在地	東京都千代田区平河町2丁目16番1号 平河町森タワー
売上	連結 33,413百万円 個別 2,768百万円（2011年3月期）
社員数	連結 1,503名 個別 108名（2011年3月末現在）
資本金の額	10億円
発行済株式数	26,683,120株
単元株式数	100株
事業年度の末日	3月31日
上場取引所	大阪証券取引所（ジャスダック市場）

1.会社概要

2011年6月23日現在

役員

代表取締役会長(CEO)	三柴 元
代表取締役社長 執行役員社長(COO)	米田 光伸 [事業開発室長]
取締役	牧野 敏夫 [社長室長、経営管理本部 管掌]
取締役	中川 孟 [事業推進本部、財務・経理本部、総務・人事本部 管掌]
社外取締役	佐山 展生
社外取締役	上住 甲子郎
社外取締役	林 界宏
常勤監査役	堀内 誠夫
社外監査役	酒井 富雄
社外監査役	網野 猛美

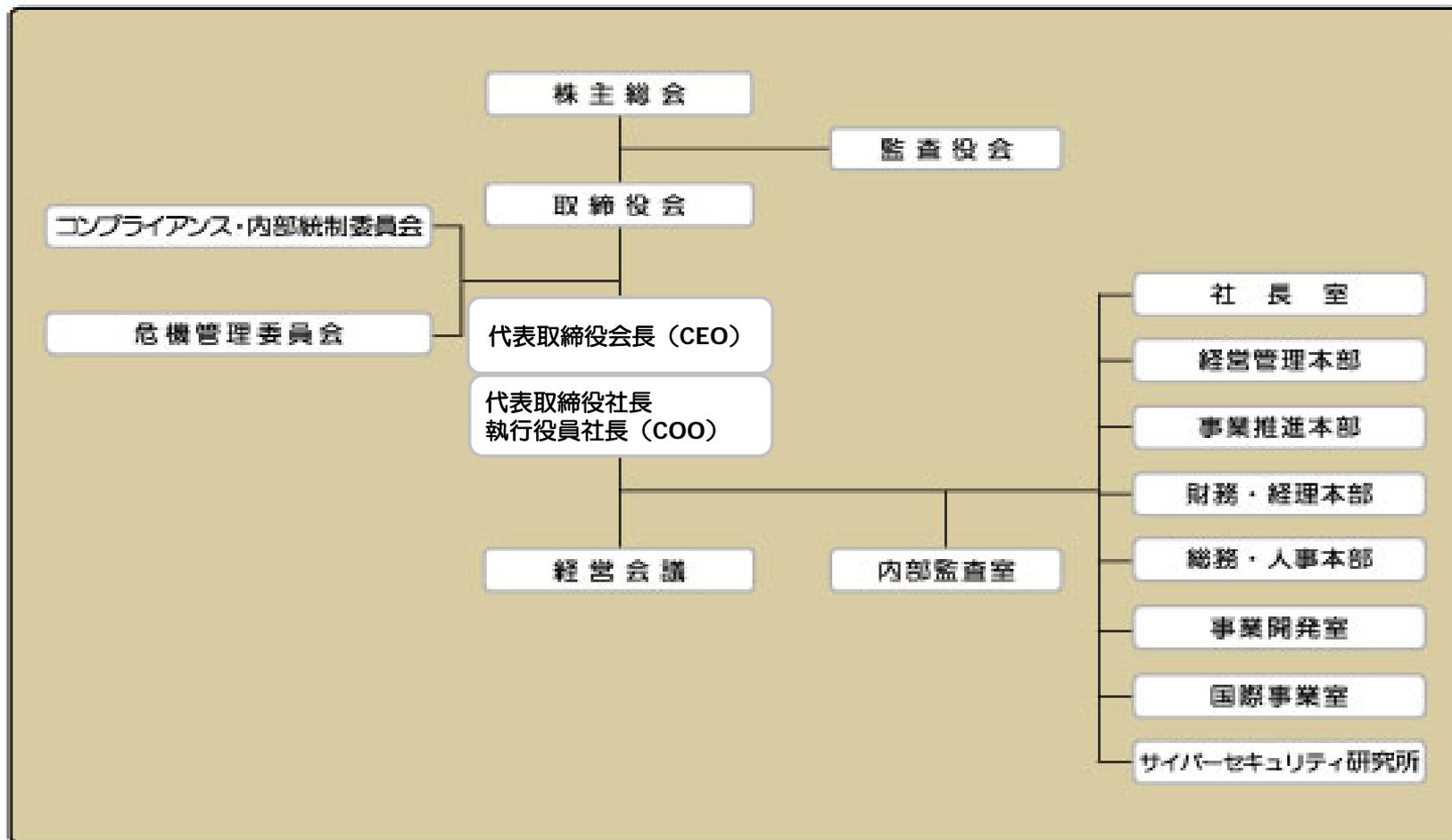
執行役員

執行役員	齋藤 理 [LAC代表取締役社長]
執行役員	高梨 輝彦 [A&I代表取締役社長]
執行役員	怒和 秀昭 [ITC代表取締役社長]
執行役員	伊藤 信博 [経営管理本部長]
執行役員	英 秀明 [事業推進本部長]
執行役員	白石 通紀 [財務・経理本部長]
執行役員	鎌田 寿雄 [総務・人事本部長]
執行役員	三柴 照和 [国際事業室長]
執行役員	伊東 寛 [サイバーセキュリティ研究所長]

1.会社概要

組織図

2011年6月23日現在



2. 企業理念/ビジョン

企業理念

進化し続けることで成長し、持続可能性の高い経営により、社会にとってなくてはならない存在を目指します。



2. 企業理念/ビジョン

経営ビジョン



高度な情報技術によるサービスを提供する
社会インフラを支える企業

- コーポレートガバナンスの充実とコンプライアンス重視の経営
- お客様中心の視点でより価値のあるソリューションを提供
- 高度な情報技術による先進性の追求
- 社員がいきいきと楽しく働く企業
- 健全な成長を持続する企業
- 国際企業への飛躍

3. 全社戦略

グループ基本戦略

V i s i o n

高度な情報技術によるサービスを提供する
社会インフラを支える企業

経営基盤の
強化

規模の拡大と
ポートフォリオの
強化

付加価値と
生産性の向上

人材の
育成

グローバル
展開

コーポレートガバナンスとコンプライアンスを踏まえた
継続的なイノベーション活動の推進

4. 経営目標

経営の基本方針：継続的な成長と安定的な収益確保

- ◆売上高伸長率 : 10 %以上
- ◆ROE（自己資本当期純利益率） : 20 %以上
- ◆ROA（総資産経常利益率） : 10 %以上
- ◆DOE（純資産配当率） : 5 %

配当の方針

- ・長期的かつ継続的な配当水準を維持
- ・年2回の配当
- ・利益の変化や業績に左右されない安定的な配当



ご清聴ありがとうございました

お問い合わせ窓口：経営管理本部
Tel; 03-6757-0100(代表)
E-Mail; ir@lachd.co.jp

JASDAQ (証券コード3857)
<http://www.lachd.co.jp/>